



2024年3月吉日

各位

「一般社団法人ワクチン問題研究会」
新型コロナワクチン接種後症候群における
筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) の症状改善に
必要な療養指導に関する記者会見の御案内

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

去る2023年9月7日設立時の記者会見でご報告しましたように、ワクチン問題研究会会員の医師による新型コロナワクチン接種後症候群 (PVS) を呈する患者さんの診療実績に係るアンケート調査で、神経系障害および一般・全身障害として記述される患者さんがほぼ半数に認められました。

これらの患者さんのうち、相当数の方々が筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) の診断基準に合致する症状が揃っておりました。

当研究会業務執行理事である児玉慎一郎医師が担当している新型コロナワクチン接種後症候群の患者さん80人のうち、ME/CFSと診断される患者さん28人(35%)に対して、ME/CFSに関する過去の論文報告に基づいて血中ビタミンDを測定したところ、一例を除く全員に不足(30ng/mL未満20ng/mL以上)または欠乏(20ng/mL未満)が判明しました。

そこでビタミンDが豊富な食品(サプリメントを含む)の積極的摂取、できるだけ陽にあたる生活を心がけるように療養指導しました。

その結果、血中ビタミンD値の上昇に伴ってME/CFSを特徴付ける症状数の平均値が初診時10.8であったものが判定時には平均4.6に減少し、体調の回復が認められました。

このような療養指導は、日常診療で容易に実践できることであり、新型コロナワクチン接種後の遷延性副反応でME/CFSに悩まされている多くの患者さんを診療されている医師に一刻も早く知っていただく必要があると考えましたので、ご報告致します。

おそらく、この簡単な療養指導法は新型コロナウイルス感染症罹患後症状としてME/CFSに合致する患者さんにも適用できる可能性があります。

ME/CFS診断基準に合致する患者さんに対するビタミンD補充療法については、一刻も早くその効果を検証することが望まれます。

この度の記者会見の場で、新型コロナワクチン接種後の遷延性副反応としてのME/CFSに対する療養指導実績の概要についてお話をさせていただきます。

当日記者会見の内容につきましては、後日公式サイトでアーカイブ配信を予定しています。年度末のご多用中とは存じますが、公式サイトならびに記者会見のアーカイブ配信を是非ともご覧いただきたく存じます。

謹白

一般社団法人ワクチン問題研究
会代表理事 福島 雅典

「一般社団法人ワクチン問題研究会」
新型コロナワクチン接種後症候群における
筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群(ME/CFS)の症状改善に
必要な療養指導に関する記者会見の開催概要

- 日 時：2024年3月28日（木）14：00～15：00
- 会 場：厚生労働省会見室
- 住 所：〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎第5号館9階
- 登壇者：一般社団法人ワクチン問題研究会
福島 雅典（代表理事）
藤沢 明德（業務執行理事）
児玉 慎一郎（業務執行理事）
吉野 真人（理事）

【このプレスリリースに関するお問い合わせ】

一般社団法人ワクチン問題研究会事務局

住 所：〒665-0842 兵庫県宝塚市川面 5-10-32-205

E-mail：toiawase@jsvrc.jp

公式サイト：https://jsvrc.jp/

以上